

学校再開後の感染症対策について

1. 健康観察カードの活用

毎朝、必ず家庭で健康観察を行い、カードを学校に持ってきてもらう。
登校後、担任が症状の有無などチェックをし、カードを返却する。

※発熱や症状がある場合は、保護者に連絡し、帰宅してもらう。

※検温していない児童は、教室配布の体温計で測定する。
(アルコール消毒綿を各教室に配布。使う度に消毒をする。)

2. 教室での対応

【児童が来る前】

机と机の間隔をあける。 ※隣同士をくっつけない。

【児童の在校時】

・健康観察を行い、咳など体調不良が見受けられる場合は保健室に来室させる。
児童の表情や発言などから、心の健康面にも気を配る。

・マスクを着用していない児童には、マスクを渡し、次回から必ず持つてくるように声をかける。
(何度も忘れる場合は、学校で作成したペーパータオルのマスクを渡す。)

・常に窓を開けて、換気をする。

・手洗い、咳エチケットの励行を呼びかける。三密に気をつける。

※各学年の手洗い場にアルコール消毒を設置。

泡で出るタイプのものですが、そのまま手でこすって乾燥させる(洗い流さないよう、指導する。)

・トイレは学年のトイレを使用する。(管理棟は使わない。)

・免疫力を高めるため、睡眠時間の確保、バランスのよい食事を心がけるよう指導する。



3. 児童下校後の消毒

【消毒する箇所】

- ・教室、トイレなど児童が利用する場所のうち、特に多くの児童が手を触れる箇所(ドアの取手、手すり、スイッチなど)
- ・児童の使用した机、椅子

【分担】

教室、廊下・・・各担任 トイレ(6か所)・・・担任外
階段、支援の教室(使った場合)・・・支援担
消毒液の希釈、使用済みダスターの消毒・・・担任外

【消毒の手順】 ※消毒液は塩素系漂白剤を希釈したものを使用する。

- ① 保健室にてゴム手袋、マスクを着用する。
塩素消毒スプレー、ダスターを持っていく。
水拭き用雑巾を各自で用意する。
- ② 教室の窓をあけて換気する。
- ③ ダスターに消毒液を十分に噴射し、消毒する箇所をふき取る。
- ④ 金属部分は雑巾でしっかり水拭きをする。(塩素は金属腐食性があるため)
※ 塩素消毒 → 水拭き の順
- ⑤ 消毒液は手洗い場に流し、水洗いして保健室に持ってくる。
手洗い場の排水溝の蓋(金属)は水で流す。
- ⑥ ダスターは保健室の洗濯機左横のバケツに入れる。(あとで消毒)

⚠ 消毒液について

手指の消毒には絶対に使用しない、他の薬品と絶対に混ぜない。
衣服につくと脱色するので気をつける。

